外国人とともに生きる大田・市民ネットワーク 会報

OCNet つうしん通信 No.134

2026-8.1

NEWSLETTER

第１８回一般社団法人 OCNet 社員総会報告

代表　天明　尚子

日頃より OCNet の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

第１８回一般社団法人 OCNet 定時総会を、５月１７日（日）の１３時３０分より Minto Ota 会議室 C にて開催しました。

正会員出席 16 名、委任状提出 28 名、計 44 名で、社員総数 54 名の 4 分の 1 を超え、総会の成立が宣言されました。第 1 号議案「2025 年度活動報告」、第 2 号議案「2025 年度決算報告」、第３号議案「2025 年度監査報告」、第４号議案「2026 年度活動方針案」（１．全体報告　２．協働　［相談、子ども・若者支援、ネットワーク、にほんごのひろば、にほんごのひろば子ども教室］　３．事業部［中国帰国者センター］　４．事務局［総務］の順にて）、第 5 号議案「2026 年度予算案」の次第に沿って各担当理事より説明があり、各議案はいずれも原案通り承認可決されました。

16 時 05 分、すべての議事を終了し閉会しました。

コロナ以降会員が減少傾向にあり懸念していましたが、今回の総会にはオブザーバー参加の賛助会員１名と、新規正会員２名の出席がありました。

参加者からは、総会を通じて組織の全体像と各部門が担う具体的な役割を理解する良い機会になったとの感想をいただきました。各部門との連携を深めるため、全体で顔を合わせる機会には、ぜひ多くの方に積極的に参加していただきたいと思っています。また、研修会なども要望に応えて企画していきたいので、皆さんの声をお聞かせください。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

移住連（移住者と連帯する全国ネットワーク）全国ワークショップへの参加について

鶴田　雅英

6 月 13～14 日の日程で開催された移住連（移住者と連帯する全国ネットワーク）の全国ワークショップに参加してきました。今年のテーマは「熊本地震から 10 年、差別・排除をのりこえ　地域からつくる　多民族・多文化共生社会」

ぼくの印象に残ったのは、いま日本政府が進めている「秩序ある共生」の名のもとに強化される外国人管理の強化、そして、その政策と呼応するように日本社会で外国につながっている人への排外主義的傾向が広がっている話でした。「秩序ある共生」という名称が使われるようになって、国のあらゆる行政文書から「多文化共生」という言葉が取り除かれ、「秩序ある共生」に入れ替わっているとのこと。

子ども・若者の分科会に参加したのですが、その「秩序ある共生」の名のもとに強化される外国人管理の強化の政策で、資本金が 500 万円をひとつの条件として支給されていた経営・管理の在留資格が、資本金 3000 万円になりました。結果として、カレー屋を閉じることになり、日本語しかできない彼らの子どもがネパールに帰るか、子どもだけで残るかという選択を迫られます。これは子どもの権利条約からも逸脱していると思われますが、そのような事態が起きています。

神奈川では民間団体で、子どもが日本で学び続けるための支援を始めたという話を聞きましたが、そのような子どもが増え続けることが予想され、増えたら支えきれなくなると言われています。

分科会の中では、「子ども」という在留資格を求めることが必要なのではないかという話もされていました。それは分科会で提案された「日本で学ぶ外国籍の子ども・若者に、学びと進路の保障を求める声明（素案）」にも示されています。分科会では時間がなく、この素案について十分に議論する時間はありませんでしたが。

以上が私の移住連全国ワークショップ参加の報告ですが、せっかく熊本に行くのだからと金曜日に熊本に入り、火曜まで滞在して、熊本をそれなりに楽しませてもらいました。

移住連のワークショップの会場に着くまでのドタバタ日記は以下

～～～

以下、おまけ、出発の少し前から

飛行機のチケット以外は前日まで何の準備もしておらず、前日に「そうだ黒川温泉に行こう」と思いつき、黒川温泉でいちばん安い素泊まりのゲストハウスを予約したのが、木曜の深夜というか、出発日（金曜日）の早朝。

金曜日は朝 10 時から、こらぼ大森の障害者委員会の会議があり、11 時半頃終了。家に帰ってから計画相談の仕事。これから行く人の電話番号を電話で聞いて、これから行くと伝えて、計画案一式をプリントアウトして、その人の家まで行ってサインをもらい、大森地域庁舎に提出。12 時 40 分頃家に戻って、昼食。

お昼前に宿からほんとに来るのかという確認の電話があり。そこでわかったのが、空港から黒川温泉に行くバスは午後 1 時が最後だとか（ぼくが飛行機に乗る前）。熊本空港も黒川温泉も阿蘇の近くだから、なんとかなると思ってたら大間違い。阿蘇はでかい。

しょうがないので、出発直前（13 時過ぎ）にレンタカーを探して予約。安いレンタカーは熊本市

で返すことが出来ず、熊本空港に土曜の朝に返して、バスで熊本行くことにした。
家を出るのが遅れて、平和島から空港に行く予定の電車に乗るのがギリギリになったので、電動スクーターを借りたら残りの電池がギリギリ。まあ、近いのでなんとかなる。スクーターを降りて気がついたら、靴は履いてなくて、いつものサンダル。
平和島駅から羽田空港へ。14 時頃、空港に着いて大田区のノリ茶漬けのお土産を探したが、見つからず。14 時 40 分発予定の飛行機は 10 分遅れで出発し、20 分遅れで 16 時 45 分頃、阿蘇くまもと空港に到着。ニコニコレンタの送迎。ゲストハウスから「空港に着いてレンタカーを借りた段階で電話が欲しい」と言われていて電話。黒川温泉には安い食堂はないし、途中も少ないので、空港近くで食べてきてほしい。そして、ゲストハウスには温泉はないので黒川温泉の日帰り温泉でお風呂も入ってから来てほしい。ゲストハウスの近くにはコンビニもないので、必要なものは買ってくるように、とのこと。
ニコニコレンタでおすすめの夕食の場所を聞いて、道の駅大津がいいというので、向かったが、ナビをさわってると、いつのまにか別の場所が登録されていて、全然違う場所に行ったりしながら、やっと着いたらそこはもう閉まってる。少し進むと九州オリジナルのファミレスがあったので、そこに入って食事。
ファミレスを出たのが１８時頃。そこから黒川温泉に向かう。途中の阿蘇の夕焼けがすごくきれいで、車を止めて写真を撮ったりして、２０時前に黒川温泉着。ゲストハウスに電話しておすすめの日帰り入浴の旅館を聞く。夜の８時半まで受け付けていてそこで露天風呂に入ると、蛍が１匹だけ飛んでた。黒川温泉、気持ちいい。
入浴後にすぐ近くの酒屋でビールと白濁した酒と酒のつまみにいかの塩辛を購入。そこからゲストハウスに向かうが、けっこうな山道。外は真っ暗。２１時をかなり過ぎてゲストハウスに到着。ビールを飲み終え、白濁した酒を飲んだら、ノンアルの甘酒！　ともあれ、飲んで寝て、翌朝、６時過ぎに起きて散歩。
宿から少し歩いたところにある平野台高原展望所を超えて、さらに昇っていく。もう少しで向こう側というところまで行って引き返して、８時頃、宿に戻る。道のないところをサンダルで入ったりしたので、足はどろどろ。風呂を借りて、足を洗う。ゲストハウスの人に聞くと、日帰り入浴は朝８時半からやっているというので、宿を出て再び黒川温泉で朝風呂。滝の近くの露天風呂でまったり。川に降りてアイスを食べて、９時過ぎに出発。やまなみハイウェイ展望台経由で車を返すために熊本空港へ。やまなみハイウェイ展望台でナビを入れたら、空港着が 11 時 45 分と出て来てビビる。11 時返却予定だったのでニコニコレンタに電話したら、ナビよりは早く着きますよ、とのこと。途中、再びナビトラブルがあって、少し遠回りしたが、11 時過ぎに空港近くでガソリンを入れて、車を返却。空港まで送ってもらって、11 時半発のバスで熊本へ。熊本市のバスターミナルの地下の大きなフードコートの宇名トトで 880 円のうなトロどんぶりを食って、13 時半過ぎにあわてて会場に入った。13 時半は開場時間で開始は 14 時。あわてて損した
ここからのワークショップは上記の報告の通り。土曜夜の交流会は満員だったので参加できず、赤牛丼を食べてから、ネットカフェで読みかけの漫画を読んで寝て日曜日の AM のセッションに参加。午後の移住連の総会に参加して任務終了。東京からの参加者数名と熊本城を散歩。３時にすごく久しぶりでほとんど会ってもいない友人に迎えに来てもらい、友人宅（40 年前も泊めてもらった）に２泊。月曜は水俣、火曜の午前は熊本の障害者作業所に行ったりしたが、紙面を使い過ぎてるので省略。少し早めに熊本空港に到着。保安検査の前にゆっくりしようと思ったが、たいした店がなくてがっかりして、早めに保安検査場を通過。すると、その先に充実した店がたくさんあって、びっくり。馬刺しとアルコールのセットでまったりしてから搭乗、帰京。

お楽しみ会～いろんな国の料理をつくろう～

琴崎　馨

２月８日（日）に、OCNet の、５クラスある日本語教室を中心とした「お楽しみ会」が開かれました。学習者の各国の料理を作って、あるいは持ち寄って、みんなで味わおうというもの。場所は、池上会館３階にある「調理室」。調理台９台を備え、食器類、調理器類も完備した、本格的な調理室です。部屋の定員は 54 人。そこへ、「最低 20 人集まればよいかな」と理事会の発案時には言っていたのに、なんと 60 人超の人が集まりました。

料理名を列記すると、下記の通り。
バングラディシュ：チキンケバブ、ビリヤニ、プラオ　／　ブラジル：エストロガノフ
中国：杏仁豆腐、上海ワンタン、肉まん、葱姜鶏（ちゃんじゅんじい）、非菜炒鶏（ニラ炒め）、むかご　／　エジプト：コシャリ　／　日本：おにぎり、きんぴら、ちらし寿司、鶏ハム、肉じゃが
ニュージーランド：ラザニア　／　フィリピン：シニガン、ルンビアシャンハイ
スペイン：スペイン風オムレツ、たことジャガイモサラダ　／　ベトナム：ネム（ベトナム風春巻）

どれも、その国の人達が作るのだから、味がホンモノ、本格的。いろいろな国の料理が食べられる東京という街でも、これだけの料理が食べられる機会は稀でしょう。本当に美味しかった。
さて、特徴的なのは、学習者の多くが家族、友人を連れてきてくれたことです。みんなの交流の機会となったとともに、家族の OCNet への理解、共感も深まったことでしょう。
そして、みんなの協力がすばらしかった。各種の鍋、いろいろな食器が完備している調理室で、自分が調理に使いたいものを探し出すのは結構大変なのですが、助け合って、必要なものは過不足なく調理していました。人数がいますから、後片付けもあっという間。調理器、食器も、元通りの場所に全部ちゃんと収納されたのは、見事です。

全体のスケジュールは、下記の通り。

09:30　早番集合
10:00　調理開始
12:00　各調理者から料理の説明
12:10　食事開始
13:10　全員の自己紹介
13:40　スタッフの手話付きの歌。「なごり雪」、その他。
13:55　バングラディシュのダンスの披露
14:05　クイズ、なぞなぞ
14:15　「幸せなら手をたたこう」をみんなで歌う。
14:30　片付け開始
14:45　解散

「幸せなら手をたたこう」は日本語版を歌ったのですが、「自国のバージョンはありますか？」と司会がみんなに促したら、なんと中国語版と英語版が披露されました。中国語版は、男の子が「お父

さん、できるでしょ？出なきゃダメだよ」とお父さんのお尻をたたいて。これが本当の多文化の和と思わせられます。

14:05 からのクイズ、なぞなぞは、予定にはなく、司会が募ったら、ベトナムルーツの男の子が名乗り出てくれたもの。「パンはパンでも食べられないパンはなーんだ？」。「k□/□/c□/m□」　に入るアルファベット文字で、意味をなす文字は何？」。これは、当日参加した人だけが答えを知っています。

当日は、おおた日本語教室に来ているミャンマー難民の親子も参加してくれました。日本語学習への意欲を誘起して、安定した定着につながることが期待されます。

おもな活動報告

■お花見
３月２９日（日）多摩川土手にて参加者５０名

■高校進学ガイダンス
７月２６日（日）大田会場六郷工科高校

今後の活動予定

■にほんごのひろば「勉強会」
夏休み中に開催予定

■高校進学ガイダンス
１０月４日（日）品川会場　品川区中小企業センター

■大田区平和都市宣言記念事業　令和８年度大田区平和祈念花火鑑賞会
１１月１４日（土）会場：多摩川河川敷

■中国帰国者センターのつどい
大田区役所のロビーにて、特設展を開催予定

～なつやすみのおしらせ～

にほんごのひろば	８月５日（水）～８月２８日（金）
にほんごのひろば子ども教室	８月８日（土）～８月１５日（土）

～にほんごのひろばより重要なお知らせ～

■１０月以降のにほんのひろばの利用教室ついて
長年活用していましたふれあいはすぬまの閉館に伴い、教室の場所が変更になります。
１０月以降の利用教室については HP にてお知らせします。※山王会館は変更ありません。

～事務局から会費納入のおねがい～

いつも変わらぬご支援ありがとうございます。２０２６年度会費がまだの皆様へ、会費の納付をお願いします。ご不明ことがありましたら下記のメールアドレスまでお問い合わせください。
三菱ＵＦＪ銀行蒲田支店普通預金 0038048 ｲﾂﾊﾟ ｿｼﾔﾀﾞ ｿﾎｳｼﾞ ｿｵｰｼｰﾈｯﾄ

発行／一般社団法人ＯＣＮｅｔ
URL: http://www.ocnet.jp
住所 : 〒144-0051 東京都大田区西蒲田 6-36-14 TKK マンション 1F
Address : 1F, 6-36-14 Nishikamata, Ota-ku, Tokyo, 144-0051
TEL&FAX : 03-3730-0556　E-mail : jimukyoku@ocnet.jp